

2024年度 東海大学大学院 家族看護研究会

東海大学家族看護学研究室では、家族看護をさまざまな理論やツールを用いて分析しています

今回は「渡辺式」家族アセスメント／支援モデルを用いて分析します

インフルエンザ脳症にて意識レベルが低下し、救急搬送された6歳の男児。突然生命の危機に直面した児に、付き添いたいが面会制限で短時間しか傍にいられない両親。医療者と家族の間に緊迫した空気が流れ、医師、看護師ともに声掛けもままならない。皆さんと一緒に状況を整理し、介入の糸口を探します。

プロフィール:

櫻井大輔先生(家族支援専門看護師)。国際医療福祉大学を卒業後、神奈川県立足柄上病院に入職。東海大学大学院にて家族看護学を専攻し、家族支援専門看護師資格を取得。2018年から、東海大学で看護基礎教育に携わり、各地で家族看護教育の普及に努めている。

【日付】 2024年5月25日 (土)

【時間】 14:00～16:00

【方法】 現地開催

【会場】 東海大学伊勢原キャンパス 3号館

※ ハイブリット配信は行いません。参加ご希望の方は当日会場へお越しください。
※ 事前申し込みは不要です

問い合わせ先: 東海大学家族看護研究会事務局担当(櫻井・小泉)

ホームページ: <http://kazokuns.ihs.u-tokai.ac.jp>

メールアドレス: dsakurai@tokai.ac.jp

電話: 0463-93-1121(代表)